

## 地方創生の取組に係る数値目標の進捗状況について

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和6年度の実績	備考
<b>■新規雇用創出数</b>  <b>《累計》</b> <b>⇒令和6年までに、</b> <b>3,000人以上</b>	<b>【基本目標1】</b> 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする	<b>令和6年度：423人</b> [内訳] 企業誘致、新增設によるもの：101人（過去誘致分を含む） 創業によるもの：110人（創業者を含む） その他：212人(米子市職員採用によるもの他)	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時の平均(H27~H30年) : 493.5人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>	<b>《累計》 令和6年までに 1,763人</b>	
	4-1 地元企業の振興と地域産業の活性化 4-3 企業誘致の推進		

## 5年間の総括・今後の方向性

新規雇用数については、累計数が目標値の約59%となった。

その内訳は、企業誘致478人、工場新增設49人、創業510人、その他（米子市職員採用によるもの他）726人となった。

企業誘致や創業による雇用人数は概ね増加傾向にあり、国県施策と併せ、本市の取組に一定の成果が見られたものと考えられるが、より多くの新規雇用創出のため、人手不足の問題への対応を含め、取組を一層推進していく。

加えて、企業誘致活動において重要となる産業用地の整備については、候補地において生じている排水等の諸課題を踏まえつつ、企業ニーズの継続的な把握を行い、更なる誘致活動に努めていく。

雇用創出数（R2～R6）



	R2 (259人)	R3 (242人)	R4 (380人)	R5 (459人)	R6 (423人)
企業誘致	75	54	120	129	101
創業支援	84	71	95	150	110
市職員採用	49	60	139	172	163
その他	51	57	26	8	49

出典：米子市調査

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 6 年度の実績	備考
<b>■人口の社会増減</b>  《年間》 ⇒令和 6 年において 転出入の均衡	<b>【基本目標 2】</b> 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる	<b>令和 6 年度：△267 人</b> [内訳] 転入総数：4,730 人 転出総数：4,997 人	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時の平均 (H27~R1 年) : △53.8 人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>		
	4-12 シティプロモーションの推進と関係人口の拡大 4-13 移住定住の促進		



5 年間の総括・今後の方向性
<p>令和 6 年の社会増減については、前年と比べ、転出超過数が 139 人増加し、267 人の転出超過となった。</p> <p>全体としては、令和 3 年から、3 年連続の転出超過となった。傾向としては、特に関東圏への転出超過が加速しており、関西、山陽等への転出も超過傾向が続いている。</p> <p>転入超過については、島根県を除き、地域特定の傾向が見られる様子はないが、外国人転入は年々増加傾向にある。</p> <p>国・県の動きと連動しつつ、少子化対策、シティプロモーション、関係人口の拡大・濃密化、移住定住等を推進することで、人口の社会増減の均衡をめざしていく。</p>

(参考)米子市における社会増減推移

(単位：人)

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
社会増減	241	7	-9	-128	-267
(県内転出入合計)	348	147	226	232	180
(県外転出入合計)	-107	-140	-235	-360	-447

(参考)県外合計の内訳

(単位：人)

区分(令和)	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	区分(令和)	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
関東	東京	-70	-61	-124	-124	-173	山陽	岡山	-3	2	43	-14	-8
	埼玉	-16	-1	-25	10	-45		広島	-81	18	-41	-18	-70
	千葉	-14	-18	-10	-63	-26	小計	-84	20	2	-32	-78	
	神奈川	-8	-35	-17	-11	-46	島根	183	171	70	75	136	
小計	-108	-115	-176	-188	-290	外国	74	14	126	106	166		
関西	大阪	-75	-115	-81	-81	-117	その他	-37	-77	-158	-215	-216	
	兵庫	-60	-38	-18	-25	-48	県外合計	-107	-140	-235	-360	-447	
小計	-135	-153	-99	-106	-165								

出典：鳥取県の推計人口

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 6 年の実績	備考
<b>■ 出生数</b>  《年間》 ⇒令和 6 年において、 <b>1,400人以上</b>	【基本目標 3】 結婚・出産・子育ての希望をか なえる	<b>令和 6 年：1,022 人</b>  資料：鳥取県人口移動調査 (R6.1～R6.12)	【参考値】 数値目標策定時 の平均 (H27～R1 年) : 1,352 人
	まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの		
	3-1 在宅育児支援の充実 3-2 待機児童の解消と子育て 支援の充実		



5 年間の総括・今後の方向性
<p>出生数については、前年から 51 人減となり、前年に引き続いて、平成 27 年以降最も少ない数値となった。</p> <p>5 年間ににおいては、国、又は鳥取県と同様の傾向として、自然減が続いた（令和 6 年度 国：919,237 人の自然減、鳥取県：4,918 人の自然減）。</p> <p>出生数の減少は、未婚・晩婚化等の様々な要因が絡み合って進行しており、合計特殊出生率の低下などにも影響が表れている。</p> <p>本市においては、人口減少社会を前提にしながら、中でも地域社会を維持しつつ、経済成長を図ることとしている。国の示す「地方創生 2.0」の動きと連動しながら、少子化対策や魅力的な働く場の確保、子育て環境の充実などに重点的に取り組んでいながら、若者世代にとっても「働きやすい」、「子育てしやすい」、そして「楽しい」、米子のまちづくりを推進していく。</p>

(参考)米子市における自然動態

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
出生数	1,152	1,173	1,182	1,073	1,022
死亡数	1,743	1,801	1,902	1,928	1,880
(自然増減)	-591	-628	-720	-855	-858

出典：鳥取県人口移動調査

数値目標	国の「まち・ひと・しごと」 創生総合戦略」における基本目標	令和 6 年度の実績	備考
<b>■ 中海・宍道湖・大山 圏域人口</b>  <b>《累計》</b> <b>⇒5 年後、令和 6 年に おいて 6 0 万人以上</b>	<b>【基本目標 4】</b> ひとが集う、安心して暮らすことが できる魅力的な地域をつくる	<b>令和 6 年度：624,389 人</b> [内訳] 米子市：144,004 人 鳥取県西部圏域(米子市を除く) ：77,953 人 松江市：197,280 人 出雲市：170,677 人 安来市：34,475 人	<b>【参考値】</b> 数値目標策定時の 住民基本台帳人口 (H30 年) ：65 万 3 千人
	<b>まちづくりビジョンの 基本方向の主なもの</b>		
	1-1 広域的な交通基盤の整備 2-9 国県・他の自治体との連携 協力 4-7 広域連携による観光振興		



5 年間の総括・今後の方向性
<p>圏域人口については、前年度△4,807 人となったものの、目標である「令和 6 年において 60 万人以上」の目標を達成することができた。また、この 5 年間に於いて、常に 60 万人以上の人口を維持することができた。</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域においては、同圏域市長会を中心に、①力強い産業圏域の形成、②未来をひらく交通ネットワークの形成、③魅力ある圏域の形成を掲げており、基本目標は、引き続き「令和 11 年において圏域人口 60 万人の維持」と定められたところ。</p> <p>多様化・複雑化する地域課題について、県境を越えた広域連携により、引き続き、地域の維持と更なる地域の一体的な発展を図る。</p>

(参考)圏域における人口推計推移

区分	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
米子市	147,268	146,753	146,148	145,121	144,004
県西部計 (米子市除く)	61,008	81,348	80,127	78,986	77,953
松江市	202,345	202,280	200,880	199,023	197,280
出雲市	171,950	172,871	172,428	170,927	170,677
安来市	36,975	36,420	35,740	35,139	34,475
計	619,546	639,672	635,323	629,196	624,389

出典：鳥取県の推計人口  
島根県推計人口